

第38回

辰巳祭 9/1(金)・2(土)



辰巳祭に参加して

小杉 智美 (32H)

在校生の家族と卒業生という制限こそあったものの、在校生にとっては初めて外部から人を招く規模の文化祭。子どもも事前準備から、昨年までよりも張り切っていました。保護者も同じで、自分たちも高校生になったかのように楽しませてもらったと思います。この時期は、石川県ではじわじわとコロナ罹患者が増えていた頃。先生方がご尽力くださったおかげです。

「辰巳味を味わおう」という 2023 年の文化祭のテーマ通り、高校生活の楽しさを存分に味わい、素敵な思い出が増えた 2 日間でした。

新田 啓子 (32H)

PTA の委員となり 3 年目となった今年、初めて辰巳祭に参加させていただきました。

1 日目はカレー作り、2 日目は食べ物や飲み物の販売とゲームコーナーで、私は 2 日目の飲み物販売を担当しました。それぞれの担当の方の工夫やアイデア、事前の準備と協力のおかげで、多くのお客さんの笑顔を見ることが出来ました。また間近で子ども達の頑張りも見る事が出来て本当に良かったと思います。

先生方、役員、委員の皆さま、ご協力頂いたボランティアの皆さまありがとうございました。

吉田 亜弥 (32H)

今年はコロナも緩和され、家族の来校も可能となりました。

PTAとして2回目の出店となりましたが、大変盛り上がり、生徒たちが楽しむ姿にほっこりしました。今年は多数の保護者の方のご協力があり、準備や運営、片付けなどスムーズに進める事ができ大変感謝しております。また、個人的に本校ならではの生徒の芸術作品やステージなども感動いたしました。

改めて、親子共々、楽しい辰巳祭となり本当に良かったです。

3年間 協力して頂いた委員の皆様

(32H) 吉田 亜弥さん 石井 啓子さん 小杉 智美さん 新田 啓子さん
三好 裕介さん 氣戸 三奈さん 前田 菜穂さん

辰巳がんばろう会 12/25(月)



元気溢れる生徒たち♪

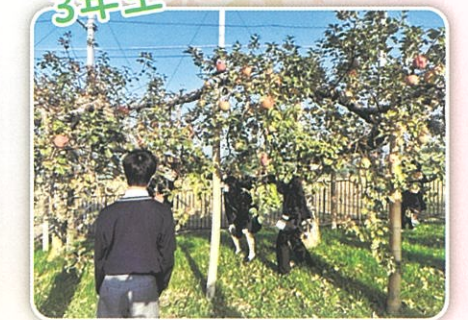
1年生



2年生



3年生



北信越地区高等学校PTA連合会研究大会

岩田 善和 (22H)

7月15・16日、雨が降る新潟市で大会は開催されました。

初日は、各県代表PTAの活動発表があり、各校PTA特色ある活動は大変参考になりました。2日目は、新潟県出身の俳優高橋克実さんから「僕が俳優になったわけ」の演題でトーク形式での講演がありました。さすが名脇役高橋さん！コーディネーターの女性をうまく引立てながらも会場全体を高橋さんの世界に引込みました。

へぎ蕎麦は食べ損ねましたが、大会の趣旨「VUCA(ブーカ)時代」を「生き抜く子どもたちが社会で輝けるよう」という大会は十分勉強させて頂きました。今後のPTA活動にいかす事ができればと思います。



第72回全国高等学校PTA連合会大会

八幡 優子 (23H)

過日、第72回全国高等学校PTA連合会大会に河岸校長、藤谷先生とともに役員2名で参加してきました。昨年はこちら石川県においての開催であり、微力ながら携わったこともあり、今年の大会参加は感慨深いものがありました。

第1日目は東日本大震災復興ソング「花は咲く」の合唱から始

まりプロジェクションマッピングを駆使した華やかなステージの開会式、その後第1分科会にて「コミュニティスクールとグローバルの光」と題したパネルディスカッションに参加しました。大震災後の復興と過疎に悩む地域の高校の在り方は石川県においても他人事ではない問題だなと感じました。

2日目は令和5年夏の甲子園で準優勝し、前日甲子園から戻ったばかりのお忙しい中、仙台育英高校野球部須江監督のお話を拝聴しました。80名前後の部員を取りまとめて目標達成のためのチーム作りに、いかに彼らの心に響く言葉をかけられるかが大切だと、日々子どもたちに接する私達にも大いに参考になりました。その後東日本大震災遺構である旧荒浜小学校を見学し、地震や津波によって今までの日常がいかに簡単に破壊されてしまうのか、そしてその傷は決して癒えないが、これからは起こりうるであろう教訓としてしっかり未来につなげる事がいかに大切かという事を肌身に感じてきました。

そして、この正月にこの石川県においても未曾有の大震災と津波が襲い、復興どころかまだ被害の全容すら定かではない状況です。(令和6年1月7日現在)被災された方々にかける言葉も浮かばない状態ですが、東日本大震災や阪神淡路大震災でも学校が避難拠点になり、学校が地域と繋がる大きな存在であることは間違いなく、そこにPTAとしても何か出来る事はある、出来る事からしていきたいと思いました。

